

平成 21 年度

富士見丘高等学校入学試験（一般）

国 語（100 点 50 分）



注意事項

- ・ 試験時間は 50 分間です。試験の開始と終了はともにチャイムの鳴り始めとします。
- ・ 解答用紙は、この問題冊子の中におりこまれています。開始の合図があるまでこの問題冊子を開いたり裏返したりすることは出来ません。
- ・ 試験開始の合図があったらすぐに、解答用紙の所定の位置に受験番号と氏名を正確に記入しなさい。
- ・ 問題冊子は 1 ページから 14 ページまであります。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁や解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- ・ 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- ・ 問題用紙の余白などは適宜利用してかまいませんが、切り離してはいけません。また、この問題冊子は試験終了後に回収します。
- ・ **【新傾向問題】**は、知識量を問う問題ではありません。発想力や分析力、論理的思考力などの総合力を問う問題です。従って、正解は必ずしも一通りではありませんし、部分点もありません。^{あきら}諦めずに解こうとする姿勢も評価されますので、最後まで全力で挑戦してください。

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	------------	--

一 次の文章は加賀野井秀一『日本語の復権』の一部分である。以下の問いに答えなさい。

私がパリの知人たちとおしゃべりをする際、彼らからの質問で、よく「あなたの生まれた高知というのは、東京からどのくらいの距離のところにあるのか」とか、「その高知にはどれくらいの人が住んでいるのか」とか、具体的な数値をたずねられることが多いが、これは①私たちが日本人が最も苦手とする質問なのではあるまいか。

私たちは、自国ではほとんどの場合、「かなり」とか「けっこう多くの」といった表現で間にあわせているのだが、それはそういった大ざっぱな表現に対する「暗黙の了解」を共有しているからである。「古池や蛙かわず飛びこむ水の音」という一句を聞いても、この池が一〇〇メートル四方もありはしないことや、巨大な蛙が何匹もとびこむわけではないことが、私たちには当然のように了解されているわけだ。

なるほど、東京での「けっこう広い宅地」が五〇坪であったりすることは、ビバリーヒルズの住人には予測しようもあるまいし、「かなりの混雑」が東京のラッシュ時の殺人的な電車のものであることなど、サハラ②の遊牧民にとっては想像を絶してもいるだろう。

パリでは、数値にたよるしかないのが当然であるということとともに、③、日本がいかに横並びの均質な社会となり、ビバリーヒルズを④もサハラをも想像しえない所となってしまうかということにも、私たちは気づかねばなるまい。④ 私たちは、多くの場合、仲間内で理解しあうたぐいの言葉しか持ちあわせていないため、外部の人々に対するあいまいさをも出し出しているのである。

あるいはまた、こういうこともあるのではないか。それは、皆さんもしばしば経験されるにちがいないし、テストの落とし穴としても頻繁に用いられている否定疑問文への答えが、欧米と日本とはまったく逆になるという事実に見られるようなことである。つまり「これこれのこと、ご存じないのですか」と聞かれて、日本語では「ええ、知りません。」あるいは「いいえ、知っています。」とこたえるべきところ、欧米では、「ノー、知りません。」「イエス、知っています。」になるという、あれである。

結局のところ、日本語は、質問者の質問のしかたにAソクし、そのBイトに沿っていけば「ええ」とこたえ、反していれば「いいえ」とこたえるわけだが、欧米では、Cコウテイ疑問であろうが否定疑問であろうがそんなことにはおかまいなく、返答する者が知っているか否かによってのみイエス・

ノーが決められている。こうしてわが同胞は、外国に行つて否定疑問文を浴びせかけられるたびに、どきまぎしながら「はい、いやちがった、いいえ。」
「いいえ、いや、はい。」などとやつて、ますます「あいまいな日本人」という ⑤ をはびこらせてしまひもするのだろうか。

このような否定疑問へのこたえ方にかいま見られるのは、自己中心的な欧米流の思考法と、⑥ 外部指向的なわが国の思考法とのちがいにほかならない。そのうえ、そもそも私たちは、きっぱりとは「ノーと言えぬ」やさしき日本人なのである。つまり、私たちのあいまいさは、多分に、他人への配慮からも生じているわけだ。

こうした他人への配慮は、多かれ少なかれ、自己を抑制することになるだろうし、他人と歩調を合わせようとするにもなるだろう。私たち旧世代がつねに D シテキされてきた日本的集団主義はもとより、はた目には、かなり自己チュー（自己中心的）と見られる ① 現代の若者たちまでが、学校や職場での友人関係にどれほど気を遣っているかは、見ていて涙ぐましいほどである。「はい、はい、はい、はい」と「はい」をいくつも続けてコミカルかつ同調的な司会者のノリを出してみたり、「やっぱし」「ヤツパ」「あんまり」「意外と」を連発して社会通念にこびてみたり、「半疑問」「半クエスチョン」と呼ばれる文の途中での語尾のアゲを使うことで相手との一致をたえず確認してみたり、② あげくの果てには、携帯電話を通してまでもこうした気遣いを繰り返し、彼らはようやく、「だれかとながっている」という安心感を得るに至るらしいのだ。

このように、私の見るところ、日本語におけるあいまいさと言われるものは、大別すれば、「暗黙の了解」と「他人への配慮」という二つのもの由来しているように思われる。「暗黙の了解」はまさしく了解されている以上、それを言葉にしないのは当然のことであつて、それがあいまいと映るのは外部の目に対してだけである。あるいはまた、「他人への配慮」によつて物言いを微妙に変えるところなど、自己主張ばかりに終始する西洋風の言葉遣いよりも数段すぐれていると考えることもできる。したがつて、⑦ 日本語における「あいまいさ」なるものは、まずは、本来の意味においてはあいまいではないのだと、そう言うこともできるだろう。

しかしながら、この「暗黙の了解」や「他人への配慮」が、日本語内部においても次第に崩れてきているとすればどうだろう。暗黙の了解があつてこそあいまいさをまぬがれていた私たちも、そうはいかなくなり、他人への配慮があつてこそあいまいも美德になっていたのが、一転して、単なるあいまいとしての悪徳になってしまうのではないだろうか。

たとえば、⑧ あるスーパーマーケットで年配の婦人が、若い女店員にこうたずねた。

「あのう、お嬢さん、このお豆腐ずいぶんにごりが出ているけれど、まさかヨイゴシ（宵越し）のお豆腐じゃないでしょうね。」
 げげんな顔をした女店員は、こう応じたのである。

「いえ、お客様、当店では〈絹ごし〉と〈木綿ごし〉しか置いておりません。」

思わず私はふき出してしまった。二重の意味においてである。ひとむかし前ならば、この答えは⑨ **当意即妙**の見事なものであったにちがいない。当店の商品には「宵越し」などという言葉はないと、ナポレオンのように自信たつぷりの答えとなったはずである。しかしながら、当の女店員さんは大まじめ。「宵越し」はあたかも日本語ではないかのように遇されているのだ。ご婦人の苦笑に一抹の寂しさを感じたのは、私の深読みにすぎなかったのだろうか。

ことほどさように、たかだか一、二世代の間でも、暗黙の了解は急速に失われつつある。学校教育の問題はまた別に論じるとして、ここ数十年の目まぐるしい日常生活の変化を考えてみるだけでも、それは簡単にうなずけることだろう。浴衣がけにうちわを持って縁側で夕涼み、などという情景は、すでに東京の子供たちにとっては異国のものにもひとしく、浴衣も縁側も、言葉としてさえ知らない場合が多いのには驚かされてしまう。

こうした「暗黙の了解」が失われたところでは、「他人への配慮」も従来のように通じなくなってくる。京都神話で有名な「そろそろお引き取りください。」の代わりに「お茶漬おぶけでもどうぞですか。」など、まったく理解されなくなり、他人への配慮をする人間が一方的にバカを見るようになれば、やがてギスギスした社会がやってくるのは必定だ。他方では、それまで他人への緊張した気配りと自己抑制との上に成り立っていたあいまいな物言いが、すっかり⑩ **してしまい**、ただただ怠惰な思考への言い訳としてのみ残って、やがては大勢迎合的な人間を濫造らんぞうすることにもなりかねまい。

結局のところ、ここで私たちが問題にしなければならないのは、「暗黙の了解」があつてこそまぬがれてきていた本来の意味でのあいまいさが、今や、その了解が失われることによって現実のものとなつてきていること、そしてまた、かつては美德であつたあいまいさが、やはり社会の変動とともにすっぱり悪徳に転じてしまつていないかということである。

※設問の都合上、一部本文を変えた箇所があります。

問1 — 部①「私たち日本人が最も苦手とする質問」について、日本人が具体的な数値を尋ねられるのが苦手なのはなぜですか。「暗黙の了解」という語句を必ず用い、60字以内で答えなさい。(記号・句読点は含みません)

問2 ② く ④ に入る接続詞の組合せとして最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ② したがって ③ 逆にまた ④ つまり

イ ② また ③ 逆にまた ④ だから

ウ ② したがって ③ さらにまた ④ しかし

エ ② また ③ 逆にまた ④ なぜなら

オ ② たとえば ③ さらにまた ④ つまり

問3 ⑤ に入る語として最もふさわしいものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 言葉 イ 問題 ウ 美德 エ 神話 オ 事実

問4 — 部⑥「外部」の対義語として本文の文脈上最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 日本 イ 自己 ウ 内部 エ 否定 オ 主張

問5 — 部⑦「日本語における「あいまいさ」なるものは、まずは、本来の意味においてはあいまいではないのだと、そう言うこともできるだろう」とありますが、日本語が「本来の意味においてはあいまいではない」と言える理由として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 日本語が通じにくいのは、話し相手に対する気配りのためであり、日本語の美德の一つと言えるから。

イ 日本語が通じにくいのは、「他人への配慮」が崩れたためであり、「暗黙の了解」の方はまだ機能しているから。

ウ 日本語が通じにくいのは、暗黙の了解の外側にいる人々だけであり、内側では十分な理解が成立しているから。

エ 日本語が通じにくいのは、日本語自体が「あいまい」だからではなく、日本人の性格に起因するものだから。

オ 日本語が通じにくいのは、日本人の思考法が欧米人と異なるからであり、その点さえ踏まえれば理解は容易だから。

問 6 — 部⑧ 「あるスーパーマーケットで年配の婦人が、若い女店員にこうたずねた」について、このエピソードによって、筆者が主張したいのはどのようなことですか。最もふさわしい部分を1文で抜き出し、始めの3文字を答えなさい。（記号・句読点は含みません）

問 7 — 部⑨ 「当意即妙」の意味として最もふさわしいものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア その場の状況に対して、機転をきかして対応すること。

イ その場の状況に対して、堂々とした態度で対応すること。

ウ その場の状況に対して、ユーモアを交えて対応すること。

エ その場の状況に対して、厳粛な姿勢で対応すること。

オ その場の状況に対して、苦々しい気持ちで対応すること。

問 8 ⑩ に入る語として最もふさわしいものを、次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 抽象化 イ 形骸化 ウ 大衆化 エ 普遍化 オ 現実化

問 9 本文を内容によって2つに分けるとすれば、後半はどこから始まると考えられますか。その部分を抜き出し、始めの5文字を答えなさい。（記号・句読点は含みません）

問 10 本文のタイトルとして最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「日本語の美德」

イ 「日本人の思考法」

ウ 「あいまいな日本人？」

エ 「日本人の苦手な質問」

オ 「日本語の特徴」

問11 Ⅱ部A～Dの片仮名を漢字に直しなさい。

【新傾向問題】

問12 波線部①「現代の若者たちまでが、学校や職場での友人関係にどれほど気を遣っているかは、見ていて涙ぐましいほどである」について、現代の若者の言葉遣いで、友人に「気を遣っている」と考えられるものを、あなたの生活や経験の中から1つ挙げ、なぜそう考えられるのか説明しなさい。ただし、本文で挙げられている例は用いてはいけません。

問13 波線部②「あげくの果てには、携帯電話を通してまでもこうした気遣いを繰り返し、彼らはようやく、『だれかつながっている』という安心感を得るに至るらしいのだ」とありますが、なぜ現代の若者は、そうまでして『だれかにつながっている』という安心感を求めるのですか。あなた自身の考えを述べなさい。

二 二 次の文章は有吉佐和子『紀ノ川』の一部分である。以下の問いに答えなさい。

〈これまでの話〉

文緒の母親の花は文緒に良妻賢母の教育を施そうとしていたが、文緒の反発に思い、なかなか思うようにはいかない。ことごとくお稽古事をすっばかす文緒に、花は箏の稽古をつけるが、よそ見ばかりする文緒に花は箏の爪で文緒の手の甲を掻き切った。今まで感情をむき出しにして叱ったことなかった花は、娘に傷を負わせたということに負い目を感じていた。

が、にもかかわらず、それから半月たためうちに再び花は逆上した姿を、今度は文緒ばかりでなく、娘たち全部に、また使用人たちにも見せてしまったのだ。

原因は、もちろん文緒である。最終の学期末は近づいて、文緒は浮々と東京を夢みて暮っていた。いろいろ

面倒を惹き起したことがあったが、東京へ行くとなれば周囲の者には名残惜しくて、相変らず不穏な言辭を弄して保守的な紀州人を辟易させても、今では辟易する方も前より寛大になって苦笑で聞き過したりしている。何より文緒自身が心ここにはない有様で、古里とはよくもいった、郷関を出す

るに私には何の悲しさもない。日本の首都で、新しい生活を送ることほど自分の選び得る最も自分にふさわしい生き方はないのだと、言葉は前より浮すっていた。女学校は四時に終るのに帰りは何時もとっぷり暮れてからで、稽古に廻ってきたにしてもあんまり晩すぎる。

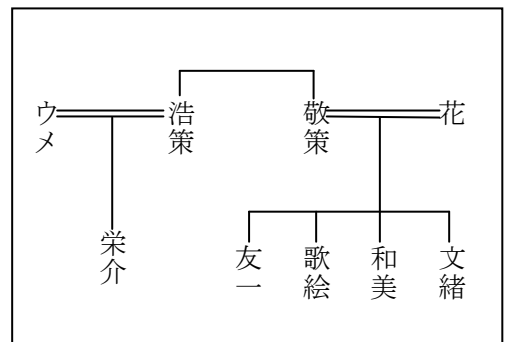
「姉さんは、いったい何処で何してるんやるかの」と、夕食に一人だけいない文緒を話題にすると、和美も歌絵も、十歳になる友一も、あいまいに花の視線を避けて、

「さあ」
 というのだった。

文緒が何をしているのか、知らないのは花だけだった。妹も弟も、女衆たちの中にも知っている者がいたが、誰も告げ口をする勇氣がなかった。いや、勇氣というより、いえば花を不愉快にさせると知っていたから、できれば知らせまいとしていたのである。文緒が学校の帰りを*揚ノ垣内は避けて*新池へ上り、そこで栄介の自転車を借りてきては*六十谷小学校の校庭で練習していることは、近頃六十谷ではかなりの話題だったのだが、花と浩策との不和を知って、しかも文緒に好感を抱いている村人たちは、*おためごかしのいいつけ口をすることもできないのであった。いずれは知れることだと誰もがそう思っていた。

だが、ある土曜日の午後、人々の想いをよそに、文緒が自分から花にそれを見せてしまったのだ。二月、冷たい風の中で奮戦していたので文緒は顔

参考



「新池の借りましてん」

⑤ に をつく 余 は なかつた。 れ かくしに立上つて、 の を。パタパタとはたいていと、

「 A 」

今度の声には、ヒイツと悲鳴のような共鳴が つ ていた。花の手が、文緒の二の を、着物の上から 々 しく ん で、そのまま彼女を家の中に引きずりこんだのである。

「 B 」

「お母さん」

「 C 」

「お母さん」

「 D 」

「お母さん、ご」

花は、文緒に口をきかせず、意味不明な言葉を き らしながら、文緒をひきずって内土 の 方へ向つていた。 と して、土 の 中に文緒を * す るつもりなのであった。それに気がつくくと、文緒は子供のように 声 をあげて き 出した。

「お母さん、ご な して。 し て か して。 私 が悪う 」

花は、片手で土 の を け ると、あ の や かな日頃 に どうしてこんな力を え ていたかと思えるほどの力で、文緒を土 の 中に き 倒した。

「お母さん、もうしませんよって。もう自転車にのりませんよって 」

子供のように き く の を カ マわず ラ ラ と い を め ると、ピンと を かつた。文緒の声を 後 に、花は冷たい 下 を ス アシの裏に感じながら、急いで 関 へ つ た。 が 動 を つ っている。驚 以上 の り が、まだ仲々 ま りそうにもない。だが、庭から家に上るとき、興奮した最中にもかかわらず手早く ぎ て た足 を、始末しなければならなかつた。

女衆たちは 然 として、足 を 取り片 け る 覚 のある者はなかつた。花は い あげると、そのまま に 入つて つ た足 と はきかえにかかつた。

と夕方と、また来客あればその 都 度、花には足 を はき え る習慣があつた。 ぐ のも手早いが、はくのも人目のない 中 で横 り して姿よく素早く * こ はぜをはめた。立つて、白い足 を め 下ろして、今 の 逆上からいくらかでも立直ろうとしているとき、

「お母さん」

和美と歌絵が入口にすわって、

「姉さんあね　してあげて　かして」

ぼろぼろ涙を流しながら頼みに来た。

そのころ文緒はと　えば、一時の□から子供のようになり、きいた後で、何もくほどのことはないのだと冷に　っていた。入の中とか土の中は、小さな子供の　にはふさわしい場所かもしれないが、十歳になった娘を、それも並以上に生意気な文緒を　じ込めるには、あまり果的な処ところではなかったのだ。自転車に　ったくらいで何なせあれほど　らねばならなかったのかと文緒は早くも母親を⑥　突ついていた。自転車が、彼女の　み　う新池のものだったので　花を感情的にさせたということには　々気がついていた。紀ノ川に仲々流れ込こまぬ鳴瀧川。それがそんなに立たたいのか。それにしても、花の逆上ぶりに　いて　きいた自分を思い返すと、どうしたことだったかと⑦　突つが　み出みてくる。妹たちの　にも　らず、花の　りは解けなかったようである。文緒は自転車に　るために　を　いで、練習中は　を火ほらしていたのが、土

の中で一人になるとさすがに　さが感じられて辟易ひやくえきし始めた。の稽古けいこのときは母親の前で、あれでもやや緊張していたのかと思おもい返される。あれ以来、土の中に置かれたままの　を、　いてみようかと思おもった。が、明りに近ちかって京友きやうゆうの*　単たんをはねてみると、文緒の　は　との塗りの長持ながもちを　けてみた。すると、　具はなくて意外なものが出てきた。

小この大きな　い座　団と、外けれに大きい紙かみに　まっているのは、　げてみると、裏の　い　であった。花が　入りのとき　の後座あとざに着きたひわ　の　である。小の葉と　かさの　かい　様が、　に浮うび上あっていた。文緒は、それと座　団を保　用に引きずり出した。

*不穏な言辞を弄して…穏やかでない意見を言っ

*辟易…相手の勢いに押されて、自分のしよつと思おもったことができなくなるこ

*場ノ垣内…文緒の自宅がある場所

*新池…文緒の叔父浩策の家がある場所

*六十谷…この地域一帯の地名

*おためこかし…相手のためになるように見せかけて、実は自分自身の利益をはかるこ

*ふんこ…わらで編み、穀類を入れて運び農具（方言）

* 神妙に近頃は海老茶色の袴をはく…文緒の通う学校では海老茶色の袴をはくことが義務づけられていた。

* 脛…すね

* 禁錮…一室に閉じ込めて、外出させないこと

* こはぜ…足袋の合わせ目をとめる爪形の金具

* 油単…タンスなどのおおいにする布

* 長持…衣類などを入れておく長方形の箱

* 小浜縮緬…わざと縮ませた絹織物の名称

* ひわ色朱珍…オリーブの実のような色(緑っぽい黄色)の絹織物

問1 — 線部 「あられもない姿」の本文中の意味としてふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 力まかせで 々しい姿

イ みすぼらしく 末な姿

ウ 事情を みない思い った姿

エ ひどくだらしなくみだれた姿

オ かいところまでむきだしな姿

問2 — 線部 〽 のカタカナは漢字に、漢字は読みを答えなさい。

問3 の本文には次の一文が抜けています。どの文の後に入れたらいいですか。その文の終わりの5文字を答えなさい。(記号・句読点は含みません)

「そしてそのときの来るのを おそ れていた。」

問4 — 線部①「聞き過したりしている」に対する主語は何ですか。 なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 花は イ 文緒は ウ 周囲の者には エ 保守的な紀州人を オ 辟易する方も

問5 — 線部②「と、言葉は前より浮ずっていた」とありますが、「と、」が受ける部分はどこから始まっていますか。 3文字で抜き出さない。(記号・句読点は含みません)

問6 — 線部③「文緒が何をしているのか」とありますが、文緒が実際にしていたことを10文字以内で答えなさい。(記号・句読点は含みません)

問7 — 線部④「を見せることを、極度に みう教育」とありますが、それが みいていられる花の行を一文で し、始めの3文字を答えなさい。

問8 — 線部⑤「にをつく余 はなかつた」について、次の、に答えなさい。
なぜ、をつく必要があつたのですか。「くから」に続く形で本文中から20字以内 句読点・記号を含みますで し、始めと終わりの3文字ずつを答えなさい。(句読点・記号は含みません)

なぜ、余 がなかつたのですか。次の中からふさわしい説明を選び、記号で答えなさい。

ア うまく自転車から りることができず、 ずかしかったから。

イ 上機 で自転車をこいでいたため、花の りに気づかなかつたから。

ウ をつくよりも、正直に告白した方が、花の も いと思つたから。

エ 妹や弟が見ていたので、格好悪いところを見せられないと思つたから。

オ 不意に自転車から落ちたため、花の を れる策を練る はなかつたから

問9 「A」く「D」にあてはまる花の リフを次の中から し、順番に答えなさい。

ア 何時まで親を ないがしろにしたら気が済むんえ。何処までやったら気が済むんえ。文緒

イ 新池の借りて、今まで内緒で練習してたんかいし

ウ あの 知らずの 好して、村中 りまわっていたんやの

エ 文緒ッ

問10 にあてはまる言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 悪感 イ 独感 ウ 心 エ 存心 オ 心

問11 — 線部⑥⑦「笑」とありますが、文意が通るように、に入る漢字1字をそれぞれ、次に された漢字の音を参考にして答えなさい。

ビ ク ダン レイ シツ タイ

問12 — 線部「紀ノ川に仲々流れ込まぬ鳴滝川」という表現は、問題本文より以前にある記述と関連しています。その部分を次にあげるの、それを読んで以下の、の問いに答えなさい。

「なあ、文緒」

「はい」

ガブツと音をたてて茶を飲み、懐から折り畳んだ手拭を出して唇を拭い、浩策は姪の顔より遠い彼方を見詰めながら、

「生命力というもん知ってるか」

と云った。

「言葉の意味やったら知ってます。」

「生命力のあるもんは強い、ないもんは弱いゆうことやな」

「はあ……」

「お前はんのお母さんは、それやな。云うてみれば紀ノ川や。悠々と流れよって、見かけは静かで優しゆうて、色も青うて美しい。やけど、水流に添う弱い川は全部自分に包含する気や。そのかわり見込みのある強い川には、全体で流れこむ気魄がある。昔、紀ノ川は今の河口よりずっと北にある木ノ本あたりへ流れとったんやで。それが南へ流れる勢いのいい川があって、紀ノ川はそこへ全力を注いだんで、流れそのものが方向を変えてしもうたんや」

含みの多そうな言葉だけに、文緒は叔父の言葉を安直に理解するのは控えたかった。肯きもせずまっ直ぐに浩策を見守っていると、彼は猶も云い継いだ。

「本家の御っさんは、わしを包含する気やったよ。そのために、ウメまで抱きこもうとしよった。ほ、わしもウメもたいがい生命力の弱い川と見込まれたらし。やけどな、紀ノ川の傍にも鳴瀧川のように、添うと見せて仲々吞まれん細い川もあるんよ。わしらがそれや。文緒が訊いた仲の悪い理由ちゆうもんやろかい」

「叔父さん、そやったら私も鳴瀧川やの。十八年育てられて、いっこもお母さんの思うように育てえしません」

「そやよって、わしと文緒は気が合うんやろかいよ」

「そうでしょな。私もそう思いますわ」

「……わしが見込みのある強い川ちゆうたんは誰のことやと思っ」

「お父さんのことですやろ。末は大臣やお母さんは云うてます。やから大事にせならんのですと」

の文章で、「紀ノ川」「鳴滝川」とはそれぞれ誰のたとえですか。次の中からあてはまる人物すべてを記号で答えなさい。

ア 花 イ 敬策 ウ 浩策 エ ウメ オ 文緒 カ 和美 キ 歌絵 ク 友一 ケ 栄介

「紀ノ川に仲々流れ込まぬ鳴滝川」とはどういう人間をたどえていますか。次の中からふさわしい説明を選び、記号で答えなさい。

ア 自分が見込んだ人間には、全力を ぐほどの気 を持った人間

イ 自然を支配する強い人間に対して、反発心を全面に出していく人間

ウ 強大な求心力をもってしても、一人の人間すら思うようにできなかった人間

エ たくましい生 力あふれる人間に対して、いながらも従順になることをしない人間

オ 力の強い人間にこびるつもりで近づくものの、生 力の しさゆえに相手にされない人間

問13 本文の内容に 合しているものを次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 花は、子どもたちの中でその勇 ぶりゆえ、特に文緒を っており、自分の から手離すことに 練は感じていない。

イ 花は、文緒が自転車で家の庭を りまわる姿を見て、 したものの、足 を手早く ぎ て、はだしで地面に した。

ウ 花は、 を 出して自転車をこいでいる文緒の姿に 然とし、その上、その自転車が叔父浩策のところのものだということにショックをうけた。

エ 花は、女性たるものは み深くあるべきという信念を持っており、保守的な思想を否定し横柄にふるまう文緒に手をやいている。

オ 文緒は、逆上した花に対しひたすら の言葉を述べたが、妹たちの も かず まる気配がないので、時機をみてから ることにした。

カ 文緒は、土 に されたが、しばらくすると き いていた自分が 立たしくなり、花に る気もおきず、ふて をしようと思い、花の衣 をひっぱりだした。

キ 文緒は、 りの解けない花の気を惹こうと を でようとしたが、自分の は が れており花の を使うのも気が退けるのではやさをしのぐことしかできなかった。

以下余白(問題はいじりません。)

一

暗黙の了解を共有する日本人は、	日常会話では大きな表現を用	いるため、具体的数値を問われ	こゝとほ
の了解を共有する日本人は、	話で解を共有する日本人は、	、では大きな表現を用	ことほ
の了解を共有する日本人は、	話で解を共有する日本人は、	、では大きな表現を用	ことほ
の了解を共有する日本人は、	話で解を共有する日本人は、	、では大きな表現を用	ことほ
の了解を共有する日本人は、	話で解を共有する日本人は、	、では大きな表現を用	ことほ

問2 ア
問3 エ
問4 イ
問5 ウ
問6 こ
問7 ア
問8 イ

問9 し
かしなが
問10 ウ

問11 A 即し 意図 肯定 D 指摘

問12 「なにげに」という言葉：誰それって「なにげに真面目だね」のように使うことで、相手に押しつけがましきを感じさせないようにしているから。

問13 核家族・共働きの両親の中で育つことの多い現代の若者は、家族の中で孤立感を感じているから。

二

問1 エ
問2 b 構わず c 素足 d つど
問3 思っている

問4 才
問5 古里と
問6 自転車を練習すること

問7 脱ぐの
問8 i 自転車
ii だっただった
ii 才

問9 A エ B イ C ウ D ア
問10 才
問11 ⑥ 冷笑 ⑦ 苦笑
問13 ウ エ

問12 i 紀ノ川
鳴滝川
ii エ
問13 ウ エ

受験番号
[]

氏名
[]

平均点 44.2 点



平易な本文のため、ある程度は内容を把握できた受験生が多く、全体的に正答率は高かったように思う。そんな中、あえて正答率が低かった設問を挙げるとすれば問 3 である。ここで言う「神話」とは、「根拠なしで誰もがなんとなく信じている事項」というほどの意味であり、この文章の前半は、「日本語はあいまいだ」と通説に反論し、それを「神話」として退ける主旨で書かれている。つまり、この設問では、語句の空欄補充という形式によって、本文前半の主旨を把握できているかどうかを問うているのである。その意味で、受験生は前半部の読解にやや難があったと言えるかもしれない。また、受験生によっては、「神話」という語がそのような意味で使われること自体を知らなかった者もいたであろう。そんな受験生は、これを機会にぜひこの語の意味を覚えておいて欲しい。高校の現代文は、普段の私たちが「根拠無しでなんとなく信じている」ことがいかに多いかに気づくことが目標だからである。私たちは、自身の価値観がいかに「神話」に塗れているかを顧みることが目標だからである。



有吉佐和子『紀ノ川』から出題。

登場人物が多い上に、読む分量もボリュームがあったためか、最後まで解答できていない受験生が目立った。設問自体の難易度は高くないので、文章を時間内に読みこなせるかが、鍵となろう。

読解する時の **key person** は「文緒」とその母「花」、叔父の「洪策」である。人物像を読み取れているか問う問 12 は正解率が低かった。だが裏を返せば、問 12 が正解であれば、読解力がついているということになる。「紀ノ川」とは、自分の信念を貫くために周りの人間を飲み込み逞しく生き抜く「花」を、支流を引き込みつつ滔滔と流れる「紀ノ川」に例えた表現であること、「鳴滝川」は、「花」に近づきつつも従順になろうとしない「文緒」「洪策」を例えた表現であることをしっかりつかんでほしい。決して「花」に邪心があるのではない。いずれも強いそのキャラクターゆえ、対立せざるをえないという人物関係をぜひ読み取ってほしい。

平成 21 年度

富士見丘高等学校入学試験（一般）

数 学（100 点 / 50 分）



注意事項

- ・ 試験時間は 50 分間です。試験の開始と終了はともにチャイムの鳴り始めとします。
- ・ 解答用紙は、この問題冊子の中におりこまれています。開始の合図があるまでこの問題冊子を開いたり裏返したりすることは出来ません。
- ・ 試験開始の合図があったらすぐに、解答用紙の所定の位置に受験番号と氏名を正確に記入しなさい。
- ・ 問題冊子は 1 ページから 2 ページまであります。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁や解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- ・ 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- ・ 問題用紙や解答用紙の余白などは適宜利用してかまいませんが、切り離してはいけません。また、この問題冊子は試験終了後に回収します。
- ・ **【新傾向問題】**は、知識量を問う問題ではありません。発想力や分析力、論理的思考力などの総合力を問う問題です。従って、正解は必ずしも一通りではありませんし、部分点もあります。^{あきら}諦めずに解こうとする姿勢も評価されますので、最後まで全力で挑戦してください。

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	------------	--

1 次の問いに答えなさい。

(1) $\frac{2x+3y}{4} - \frac{5x-2y}{3}$ を計算しなさい。

(2) $\sqrt{24} - 3\sqrt{54} + \sqrt{96}$ を計算しなさい。

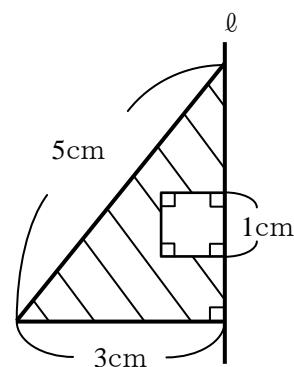
(3) $\begin{cases} 4x + 3y = 29 \\ \frac{x}{2} - y = -\frac{1}{2} \end{cases}$ を解きなさい。

(4) $(x-3)^2 - 6(x-3) + 8$ を因数分解しなさい。

(5) $3x^2 - 2x - 10 = 2x^2 + x - 2$ を解きなさい。

(6) $a + b(c + d) = 0$ を b について解きなさい。ただし、 $c + d \neq 0$ とします。

(7) 右の図のように2辺の長さが3cm, 5cmの直角三角形と1辺の長さが1cmの正方形があります。図の斜線部分を直線 ℓ を軸に一回転させたときの立体の体積を求めなさい。



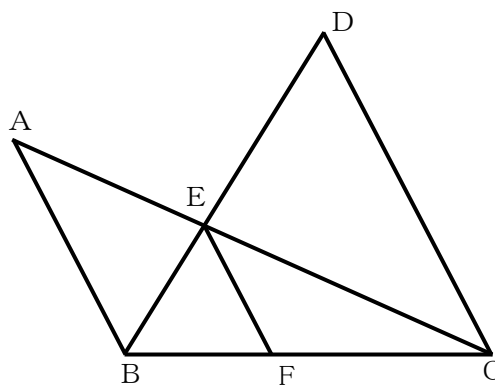
(8) $5 - \sqrt{5}$ の整数部分を a , 小数部分を b とするとき、 $a^2 - 2ab + b^2$ の値を求めなさい。

(9) $\sqrt{\frac{600}{n}}$ が整数となる最小の自然数 n を求めなさい。

2 右の図のような図形で、 $AB=4\text{cm}$, $DC=6\text{cm}$ で AB, EF, DC が平行のとき、次の問いに答えなさい。

(1) EF の長さを求めなさい。

(2) $\triangle EBF$ の面積は、図形 $ABCDE$ の面積の何倍になるか求めなさい。

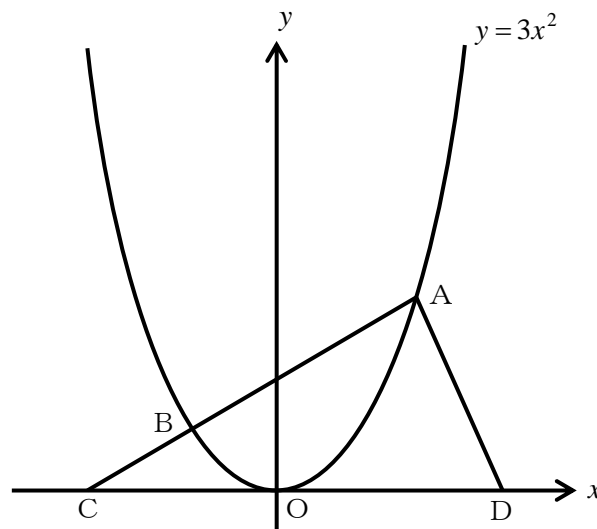


3 正七角形の7つの頂点のうち3つを選んで結び、三角形をつくります。次の問いに答えなさい。

(1) 三角形は何個できますか。

(2) (1)の三角形の中で、その三角形が二等辺三角形になる確率を求めなさい。

- 4 右の図のように2次関数 $y=3x^2$ のグラフ上に2点 $A(1, 3)$, B と x 軸上に2点 C, D があります。
 $C(-3, 0)$, $D\left(\frac{13}{4}, 0\right)$ のとき、次の問いに答えなさい。



- (1) 直線 AC の式を求めなさい。
 (2) 点 B の座標を求めなさい。
 (3) $AC:AD:CD$ の比を求めなさい。

【新傾向問題】

- 5 $+$, $-$, \times , \div の計算の記号に新しく \star と \blackstar を加えます。この新しい2つの記号では次のように計算をすることになります。このとき、以下の問いに答えなさい。

\star と \blackstar の計算の仕方の例

$$6 \star 3 = 19$$

$$9 \star 3 = 28$$

$$5 \blackstar 3 = 14$$

$$7 \blackstar 4 = 27$$

$$6 \star 5 = 31$$

$$9 \star 8 = 73$$

$$5 \blackstar 5 = 24$$

$$7 \blackstar 9 = 62$$

この計算結果から、例えば $6 \star 3$ の計算はまず 6 と 3 の をして、その後に を していることが分かります。

問1. と には、「たし算、ひき算、かけ算、わり算」の中から適する語を選び、 には当てはまる数字を答えなさい。

問2. 次の計算をしなさい。ただし、この計算は左から順番に計算をしていくことにします。

(1) $2 \star 5$

(2) $6 \blackstar (-8)$

(3) $4 \star (-3) \blackstar (-4)$

(4) $(-6) \blackstar 2 \star (-5)$

以下余白（問題はここまでです。）

平成 21 年度 富士見丘高等学校入学試験 数学 解答用紙

1	(1)		(2)		(3)	$x =$, $y =$
	(4)		(5)	$x =$	(6)	$b =$
	(7)	体積 cm^3	(8)		(9)	$n =$
2	(1)	$EF =$ cm	(2)	倍		
3	(1)	個	(2)			
4	(1)		(2)		(3)	$AC:AD:CD =$: :
5	問1	ア	イ	ウ		
		(1) 2 ☆ 5			(2) 6 ★ (-8)	
		答. _____			答. _____	
	問2	(3) 4 ☆ (-3) ★ (-4)			(4) (-6) ★ 2 ☆ (-5)	
	答. _____			答. _____		

計算欄

受 験 番 号		氏 名		※
------------------	--	--------	--	---

※の枠内には何も記入しないで下さい。

平成 21 年度 富士見丘高等学校入学試験 数学 解答用紙

1	(1)	$\frac{-14x+17y}{12}$	(2)	$-3\sqrt{6}$	(3)	$x=5, y=3$	
	(4)	$(x-7)(x-5)$	(5)	$x=\frac{3\pm\sqrt{41}}{2}$	(6)	$b=-\frac{a}{c+d}$	
	(7)	体積 $11\pi \text{ cm}^3$	(8)	$6-2\sqrt{5}$	(9)	$n=6$	
2	(1)	$EF=\frac{12}{5} \text{ cm}$	(2)	$\frac{12}{95}$ 倍			
3	(1)	35 個	(2)	$\frac{3}{5}$			
4	(1)	$y=\frac{3}{4}x+\frac{9}{4}$	(2)	$(-\frac{3}{4}, \frac{27}{16})$	(2)	$AC:AD:CD = 4 : 3 : 5$	
5	問1	<input type="checkbox"/> ア	かけ算	<input type="checkbox"/> イ	1	<input type="checkbox"/> ウ	たし算
	問2	(1) $2\star 5$ $= 11 \dots\dots$ (答)			(2) $6\star(-8)$ $= -49 \dots\dots$ (答)		
		(3) $4\star(-3)\star(-4)$ $= (-11)\star(-4)$ $= 43 \dots\dots$ (答)			(4) $(-6)\star 2\star(-5)$ $= (-13)\star(-5)$ $= 66 \dots\dots$ (答)		

配点 1~4は、各5点。5は、問1は、各2点。問2(1)(2)各3点、(3)(4)各4点。

問1の(1)～(9)はだれでも解いたことがある基本問題であるが、ミスが多かったのは(7)、(8)の計算ミスと(9)の平方根の基本的な理解力不足からの間違いであった。

問2の(1)は、相似な三角形を見つけ、そして平行線の線分の比を利用すれば解け、(2)は(1)を利用して $\triangle EBF$ の面積を1と考えていくことによって解法が見えてくるが、図形は受験生にとって苦手な分野なので今回も正解率は50%にも達しなかった。

問3の(1)は、解答用紙の余白に作図して数を求めていた受験生が多かったが、正解は意外と少なく、(1)を間違えると必然的に(2)も間違えることになる。そう難しくはない問題なのでとても残念に思う。

問4の(1)は三平方の定理、(2)は直線ACと2次関数との交点座標を連立方程式を解いて求めるが、計算式がやや面倒だったのか計算ミスが多かった。

問5の新傾向問題は、演算記号の意味の理解とそれを使って計算できるか問うた問題であったが、基本的な計算問題であったために約90%の受験生がほぼ完璧に出来ていた。全体から感じることは、計算力および正確性にやや劣っている受験生が目立ち、日頃から丁寧に解くという習慣がまだ身につけていないと思われる。また、殆どの受験生は図形が苦手なので積極的に図形問題にトライしてほしいと思う。来年度の入試も出題傾向は変えないので、傾向をよく調べ試験に臨んでほしいと思う。

平成 21 年度

富士見丘高等学校入学試験（一般）

英 語（100 点 50 分）



注意事項

- ・ 試験時間は 50 分間です。試験の開始と終了はともにチャイムの鳴り始めとします。
- ・ 解答用紙はこの問題冊子の中におりこまれています。開始の合図があるまで問題冊子を開いたり裏返したりすることは出来ません。
- ・ 試験開始の合図があったらすぐに、解答用紙と問題用紙の所定の位置に受験番号と氏名を正確に記入しなさい。
- ・ 問題冊子は 1 ページから 10 ページまであります。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁や解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- ・ 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- ・ 問題用紙の余白などは適宜利用してかまいませんが、切り離してはいけません。また、この問題冊子は試験終了後に回収します。
- ・ **【新傾向問題】**は、知識量を問う問題ではありません。発想力や分析力、論理的思考力などの総合力を問う問題です。従って、正解は必ずしも一通りではありませんし、部分点もあります。^{あきら}諦めずに解こうとする姿勢も評価されますので、最後まで全力で挑戦してください。

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	------------	--

1 次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

Harry Potter and the Philosopher's Stone is a best-selling book in fifty-five languages. So are the other Harry Potter books. The Harry Potter books have also been made into very popular movies. Millions of people around the world know Harry's story. They know about his magical powers, his friends and his enemies*, and the school of magic called Hogwarts. But where did the idea of Harry Potter come from? And what led the author, J. K. Rowling, to invent* such a popular character*?

J. K. Rowling's full name is Joanne Kathleen Rowling. She (①) in 1966 in Chipping Sodbury, near Bristol, England. Chipping Sodbury is a strange name for a town. But Rowling likes the name of her birthplace*. She likes places with strange names, and she remembers those names when she writes her books.

In fact, books were always important to Rowling and her family. There were lots of books in their house. Her mother loved reading, and so did her father. They often read books aloud* to her. Then she learned to read by herself. When she was only six, she even wrote a book. It was called *Rabbit*. She wanted to publish* it like a real book. From then on, that was her dream. She wanted to be a writer.

Rowling and her younger sister started school in Bristol. She was very happy at the elementary school there. But when she was nine, Rowling's parents decided to move to the country. They were both from the city, but they had always dreamed of living in the country. So they moved to the village of Tutshill, near Chepstow, in South Wales. The village was in the Forest of Dean, not far from the River Wye. The family's house was next to the church and cemetery*. Rowling's friends were afraid (④) the cemetery, but she and her sister liked it. She liked reading the names of all the (⑤) people. She says she still likes cemeteries and still goes to them (a) to look for names to use in her books.

There were many interesting and unusual places (b) to visit near Tutshill. For example, near Chepstow there was an old castle* on a hill. There was also the river and lots of big rocks (c) to climb on. Rowling and her sister loved (d) to play outdoors. They didn't have computers or video games, and they didn't watch much television. Instead, they invented games and adventures* for themselves.

When Rowling's family moved to Tutshill, she went to a new school. Her new teacher was not warm and friendly like her teachers in Bristol. This teacher gave math tests every day. If you could answer the questions quickly, you were "smart." If you couldn't, you were "stupid." All the "smart" children sat on one side of the room and all the "stupid" children sat on the other side. On the first day, the teacher put Rowling with the " ⑥ " children because she couldn't answer a question.

When Rowling started writing the Harry Potter books, she remembered this experience* at school. She remembered how she feared* and hated* this teacher. These memories helped her invent the character of Snape, the teacher that Harry hates the most.

Later, in high school, Rowling liked her teachers and her school better. ⑦She (was / important / an / teacher / English / very / had) to her. Miss Shepherd was not an easy teacher, but she cared about her students. Rowling learned a lot from her about stories and about writing. When Rowling's first book was published, Miss Shepherd wrote to her to say she liked the book. This letter meant more to Rowling than any newspaper review*.

English was Rowling's favorite subject in school, but she was good at other subjects, too. She always wanted to have all the answers in class. She wanted to be the best student. In fact, she was probably a little like Hermione in the Harry Potter books. Hermione is one of Harry's closest friends. But sometimes ⑧(彼女は彼女の友人たちを怒らせる) because she is always good in school.

Rowling wasn't good at everything. At her school, all the children had to learn metalworking* and woodworking*. Rowling hated these subjects. She was no good at making things with her hands. A teaspoon she made was completely flat* and useless*. A picture frame* she made was mostly glue*. She was also not good at sports, and she especially hated hockey.

In fact, when she was a teenager, she was not very (⑨) with herself and her body. She thought she was too short and fat, and not as pretty as her sister. She wished she could play sports really well. That may be why she invented the sport of quidditch in her books and she made Harry Potter a champion quidditch player. He does what his author always wished she could do.

[注] enemy 敵 invent 発明する character 登場人物 birthplace 出生地 aloud 声に出して
publish 出版する cemetery 墓地 castle 城 adventure 冒険 experience 経験
fear 恐れる hate 憎む newspaper review 新聞の批評 metalworking 金属加工
woodworking 木工 flat 平らな useless 使い物にならない frame 額 glue のり

Adopted from: *Beatrice S. Mikulecky, Linda Jeffries, READING POWER, p.231-233, LONGMAN*

問1 空欄①に入る2語を文脈から推測し、答えなさい。

問2 下線部②を次のように書きかえたとき、()に入る語を答えなさい。

her father () (), ().

問3 下線部③both の発音と同じ音を含む語を次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア among イ over ウ hospital エ sorry

問4 空欄④に入れるのにふさわしい1語を書きなさい。

問5 空欄⑤に入れるのに最もふさわしい語を次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア died イ dying ウ dead エ death

問6 下線部(a)～(d)の不定詞のうち、1組同じ用法のものがある。それはどの組み合わせか。次のア～オから1つ選び、記号で答えなさい。

ア (a)と(b) イ (b)と(c) ウ (b)と(d) エ (a)と(d) オ (c)と(d)

問7 空欄⑥に入れるのにふさわしい1語を文脈から推測し、本文中より抜き出しなさい。

問8 下線部⑦が「彼女には彼女にとってとても大切な英語の先生がいました。」という意味になるよう、不足している1語を補って()内の語を並べかえなさい。

問9 下線部⑧のかっこ内の日本語を5語の英文にしなさい。

問10 空欄⑨に入れるのに最もふさわしい語を次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア happy イ pretty ウ interested エ sad

問11 『ハリーポッター』の物語の次の登場人物のキャラクター作りのヒントになったと考えられる要因はどれか。もっとも適切なものを次のア～エからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) Snape (2) Hermione (3) Harry

ア Rowling wanted to be the best student.

イ Rowling wished she could play sports well.

ウ Rowling didn't like her teacher in Tutshill.

エ Rowling moved from the city to the country.

オ Rowling loved magic and invented games and adventures.

問12 本文の内容と一致しているものを次のア～キから3つ選び、記号で答えなさい。

ア One of Rowling's books is sold in more than 50 languages.

イ Rowling's parents didn't like living in the city, so they decided to move to the country.

ウ When Rowling was a child she moved to the country, and there she played outdoors with her sister.

エ When Rowling was in high school there was a teacher that she didn't like.

オ Rowling received a letter from her high school English teacher saying that she liked her book.

カ The only subject that Rowling liked was English, and she was not good at playing sports.

キ When Rowling was a teenager, she thought that she was prettier than her sister.

2 次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

Once there was an old man in Scotland. He lived alone in a small town.

One day he was walking in the woods. There he found a little dog. He took the dog to his home.

He liked the dog very much.

The old man gave the name, Bobby, to the dog. Bobby always followed the old man.

Some years later, the old man died. His friends buried him in a grave* in the churchyard.

Every night Bobby went to his master's grave and stayed there all night.

Many people in the town liked Bobby. ①(the dog / to / food / gave/ they / some) every day.

When night came, he always went out and stayed by the old man's grave.

One morning Bobby was on his way back from the grave. A policeman found him and said to himself, "He is a homeless dog. ②We () () catch the dog and kill him. It is ③the law*."

So he caught Bobby and took him to the police station.

One of the people in the town went to the police station. He met the policeman and asked him, "Did you catch a black and white dog a week ago?"

"**A**" said the policeman.

"Please give the dog to me," said the man.

"Many people like him."

"We kept the dog for seven days," said the policeman. "So the dog's master should pay seven shillings*. Then we will return the dog to his master."

"I won't pay because I'm not the dog's master," said the man.

“Very well,” said the policeman. “We’ll keep the dog for three more days, and then we’ll kill him.”

The children in the town were sorry when they heard ④the news. Some of them stood in front of the railroad station and collected money. They collected enough money.

The next morning the children went to the police station. They met the policeman and said to him, “Here is eight shillings, please give Bobby to us.”

“ ” said the policeman. “A dog’s master should be a grownup. We can’t give a dog to children.”

“But,” said one of the children, “Bobby’s master is dead. ⑤We’ll () () () Bobby.”

“I’m sorry for Bobby,” said the policeman,

“but we can’t change the law.”

“ ” asked another child.

“I don’t know,” said the policeman.

Then the children went to the town office and said to the mayor*,

“ but the policeman didn’t listen to us. How can we save him?”

“I can do something for ⑥him,” said the mayor.

He went to the police station and saw the police master.

“Many people in our town like Bobby very much,” he said. “We are going to give a key of honor* to the dog. Then he will be a citizen* of this town.”

⑦In this way the children saved the homeless dog. After this Bobby visited from door to door during the day. When night came, he went to his master’s grave and stayed there all night.

[注] grave お墓 law 法律 shilling(s) シリング(お金の単位) mayor 市長

a key of honor 名誉町民としての鍵 citizen 市民

Adopted from: Matsuo Inamura, *Heart-warming Stories*, p.1-12, KAIRYUDO

問1 下線部①かっこ内の語(句)を意味が通るように並べかえた時、3番目と5番目にくる語を答えなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で示してある。

問2 下線部②が「我々はその犬を捕まえて殺さなければならない。」という意味になるようにかっこ内にふさわしい語を1語ずつ入れなさい。

問3 下線部③the law*とありますが、この町の法律として正しい文章になるように、かっこ内にふさわしい数字をそれぞれ答えなさい。

- 1) 野良犬は警察が保護し、()日間飼い主が現れないときは殺さなくてはならない。
- 2) 警察が保護した犬を引き取る場合には、飼い主は保護されていた日数1日につき、()シリング支払わなければならない。

問4

A

 ~

D

 に入れるのにふさわしいものをア～オからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア No,
- イ How can we save Bobby?
- ウ Yes, I did,
- エ We went to the police station,
- オ Did they kill Bobby?

問5 下線部④の内容として正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア あと3日は犬を保護するが、その後殺してしまうという知らせ。
- イ 犬の飼い主がお金を払わなかったため犬が帰ってこられないという知らせ。
- ウ 犬の主人が亡くなってしまったという知らせ。
- エ 犬の主人はかならず7シリング払わなくてはならないという知らせ。

問6 下線部⑤が「僕たちがボビーの世話をするよ。」という意味になるように、かっこ内にふさわしい語を1語ずつ入れなさい。

問7 下線部⑥は誰のことを指しているか。ふさわしいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア Bobby
- イ children
- ウ the policeman
- エ the mayor

問8 下線部⑦の内容として正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 子供たちが集めたお金でボビーを引き取ったのでボビーは助かった。
- イ 市長がボビーを町の市民の一人にしてくれたのでボビーは助かった。
- ウ 子供達が繰り返し警察にお願いしたのでボビーは助かった。
- エ 警察官が法律を変えてくれたのでボビーは助かった。

問9 本文の内容に一致しないものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ボビーは白黒模様の犬である。
- イ 主人の死後、ボビーは毎朝お墓へ行くようになった。
- ウ 町中の多くの人がボビーを愛していた。
- エ 警察で子供は犬の飼い主として認められなかった。

問10 次のア～オの出来事を起こった順番に並べかえ、記号で答えなさい。

- ア A policeman saw Bobby and thought that he was a homeless dog.
- イ Bobby's master died.
- ウ Children collected money.
- エ One of the people in the town went to the police station.
- オ Bobby became a citizen of the town.

3

次の会話文と表をもとにして以下の問いに答えなさい。

John: Hello. This is John. ①() () speak to Ayumi, please?

Ayumi's Mother: I'm sorry but she is not here. She will be home at about six.

A

John: No, thank you. I'll call back (②).

Two hours later

John: Hello. This is John. ①() () speak to Ayumi?

Ayumi: B Hi, John. How are you?

John: I'm fine. Ayumi, how's your new school?

Ayumi: It's great. We have dance class on Mondays and Fridays. It's really fun.

John: C What kind of dance do you usually do?

Ayumi: We do our own dance. It is exciting.

John: That's good that you have an interesting class.

Ayumi: Actually, I have just come home from club. I enjoyed playing volleyball.

John: Oh, good.

Ayumi: Yeah, but I practiced too much today. I have an English test first period tomorrow, but ③I am too tired to study.

John: D

Ayumi: Yeah, so what's new with you?

John: Nothing much. I just called to see if you are OK.

Ayumi: That's kind of you. Thank you for ④(call).

John: You're welcome. Good luck on your test.

Ayumi: Thanks. I will do my best.

John: OK, bye.

Ayumi: Bye.

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	ダンス	国語	英語	理科	英語
2	数学	英語	社会	英語	国語
3	国語	理科	音楽	国語	ダンス
4	体育	音楽	国語	体育	数学
5	理科	家庭科	数学	社会	美術
6	クラブ	家庭科		クラブ	

問 1 下線部①に入れるのにふさわしい2語を答えなさい。ただし、文中の2箇所の下線部①には同じ2語が入るものとする。

問 2 ～に入れるのもっともふさわしいものをそれぞれ以下のア～オから1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア That sounds nice.

イ Speaking.

ウ May I help you?

エ You should go to bed early tonight.

オ Can I take a message?

問 3 空欄②に入れるのもっともふさわしいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア late イ later ウ latest エ lately

問 4 下線部③とほぼ同じ意味になるように次のように書き換えたとき、かっこに入れるのにふさわしい語をそれぞれ1語ずつ答えなさい。

I am () () that () () study.

問 5 下線部④の語を正しい形にしなさい。

問 6 以下の質問に英単語1語で答えなさい。

How many times does she have dance class in a week?

問 7 John と Ayumi のこの会話が行われた曜日を考え、その曜日を英語で書きなさい。

【新傾向問題】

4 AとBがある意見について討論しています。先生は進行役です。この2人の対話が討論として成り立つように、**A**にはAの意見としてふさわしい内容を、**B**にはBの意見としてふさわしい内容を考えて日本語で書きなさい。

Teacher: Some people think that high school education* should be compulsory* and free of charge*.
What do you think of that?

A: I agree with the idea that high school education should be compulsory and free of charge. In 2007, about 2% of junior high graduates* in Japan didn't go on* to high school. Among them, some students were not able to because they didn't have enough money. If high school education becomes compulsory, every student can get an education for free*. I think this idea is good.

B: But how about students who want to work? For students who have a clear dream and know what they want to be or want to do, it is better to start learning directly* from professionals*. I think that you should be able to choose between working and studying. I am against this idea.

A: Yes, but you can wait until you graduate from high school. It's only three years.
I agree with this idea for another reason*.

A

B: But...

B

[注] education 教育 compulsory 義務 free of charge 無料 graduate 卒業生 go on 進む
for free 無料で directly 直接 professional プロ、専門家 reason 理由

以下余白（問題はここまでです。）

平成 21 年度 富士見丘高等学校入学試験 英語 解答用紙

1							
問 1				問 2			
問 3	問 4			問 5	問 6	問 7	
問 8	She _____ to her.						※には何も記入 しないこと
問 9					問 10		
問 11	(1)	(2)		(3)			※
問 12							

2								
問 1	(3 番目)	(5 番目)			問 2			
問 3	(1)	(2)						
問 4	A	B		C	D			
問 5			問 6					
問 7			問 8			問 9		
問 10	⇒ ⇒ ⇒ ⇒							※

3								
問 1	() ()							
問 2	A	B		C	D			
問 3			問 4	I am () () that () () study.				
問 5			問 6			問 7		

4							
A の意見							

B の意見							

受験番号			氏名				
------	--	--	----	--	--	--	--

平成 21 年度 富士見丘高等学校入学試験 英語 解答用紙

1									
問 1	was	born	問 2	loved	reading (it)	too			
問 3	イ	問 4	of	問 5	ウ	問 6	イ	問 7	stupid
問 8	She had an English teacher who(that) was very important to her.								※には何も記入 しないこと
問 9	she makes her friends angry				問 10	ア			
問 11	(1) ウ	(2) ア	(3) イ						
問 12	ア	ウ	オ						

問 1 2 順不同 : 各 2 点

※
/32

2									
問 1	(3 番目) some	(5 番目) to	問 2	have	to				
問 3	(1) 10	(2) 1							
問 4	A ウ	B ア	C イ	D エ					
問 5	ア	問 6	take	care	of				
問 7	ア	問 8	イ	問 9	イ				
問 10	イ ⇒ ア ⇒ エ ⇒ ウ ⇒ オ								

※
/28

3									
問 1	(Can/ May)	(I)							
問 2	A オ	B イ	C ア	D エ					
問 3	イ	問 4	I am (so) (tired) that (I) (can't) study.						
問 5	calling	問 6	twice (Twice)	問 7	Thursday				

以上全て各 2 点

※
/20

4									
A の意見									
より専門的なことに関して深く詳しく学ぶ機会が増えることによって、視野が広がる。その中で新たに自分自身の興味があることに									
気づくかもしれない。									
学力低下といわれる現代において、学習時間が増えることにより全体的に学力の向上が期待できる。									

※
/10

B の意見									
しかし、いくつかの家庭においては経済的に苦しく、いち早く子供に自立して欲しいと思う親たちもいるだろう。									
どうしても学校での学習が苦痛である生徒にとっては義務教育 15 年は長すぎる。									
18 歳までは皆学生になってしまい、18 歳までは親に頼って当然であるという気風がうまれてしまい子供の自立を遅らせる。									

※
/10

受験番号		氏名	
------	--	----	--

平成21年度 富士見丘高等学校入学試験 英語 解答用紙

(一般)

A 義務教育化に賛成の意見である。(お金のない人が高校へ進学できる、はだめ。) 5点 論理的である 5点

B 義務教育化に反対の意見である。(明確な夢があり、プロに習いたい人もいる、はだめ) 5点。論理的である。5点。

漢字は一つ間違ふごとにマイナス1点。

A と B を逆に書いていたとしても賛成⇔論理 or 反対⇔論理 が成り立っていれば、5点ずつ計10点もらえる。

両方に賛成意見を書いた場合はAの方の5点と5点が採用されて10点もらえる。

1 全体の講評

長文読解2題、会話文とグラフを組み合わせた問題1題と新傾向問題1題の4題で構成されていました。制限時間内に解答を終えた受験生が大半で、ゆとりを持って解答できていたようです。一方、比較的長い文章でやや難しい問1に時間をかけすぎてしまい、簡単なはずの②、③をゆっくり解くことができなかった人や、最後の新傾向問題を考える時間がなくなってしまって受験生もいました。

長文の素材について①は、全世界的人気のハリーポッターの作者について、②は犬にまつわる文章、③は電話での会話をもとに表を読み取る問題でした。①の文章がやや長く読み応えがあるものの、設問は全体を通じて中学校で習う文法事項や単語を問う問題、内容把握といった基本的なものでありよくできていました。

2 設問ごとの講評

① 問3の発音問題に誤答が目立ちました。基本的なレベルですが、多くの受験生が発音問題を苦手としているようです。日頃から一つ一つの単語を正確に声に出して勉強する姿勢が必要です。また、問5の形容詞 **dead** を選ぶ問題も苦戦した人が多くいました。日頃から辞書を引く際に品詞を意識しながら勉強することも重要です。また、文章が長かったせいか、問12の内容把握も全体的に正答率は伸び悩んでいました。

② 1に比べて全体的に読みやすく、正答率は高かったです。特に問6の **take care of** といった熟語を書く問題はよくできていました。しかし、問3の(1)(2)のように落ち着いて解けば簡単な問題でケアレスミスをする人も沢山いました。

③ 問1の電話での決まり文句 **May I speak to** ～などは非常によくできていました。しかし、問6、問7の正答率はかなり低い結果でした。問6では **twice** と答えるべきところを **two** と答えている人が多くみられました。問7は会話の流れからその日が何曜日かを答える問題でした。まず本文から曜日を読み取れない人が3～4割、曜日がわかっても正確な綴りを書けないという人が3～4割程度いました。曜日などの基本的単語はしっかりと書けるようにしましょう。

④ 新傾向問題は、高校の義務教育化について賛成・反対それぞれの理由を自分で考え、論理的に説明する力をみる問題でした。解答のなかには、「義務教育化について」意見を述べているはずが、「高校の授業の無料化について」の話題になっていたり、すでに文中に書かれている賛否の理由を繰り返し書いているものもありました。自分なりの理由を書くためには日頃からある程度社会的な事柄に興味を持つことが必要です。独創的な解答や非常に説得力のある解答もありました。口語調にならず、正しい日本語で分かりやすく自分の意見を表現する力を身につけてほしいと思います。